

歌集  
方形の窓  
目次

序  
小見山  
輝

第一章  
朝顔

春駒の鈴	昭和三十七年	1
われ二十歳	昭和三十八年	5
ありたけの薔薇	昭和三十九年・四十年	8
君が視線を	昭和四十一年・四十二年	11
母となりて	昭和四十三年・四十四年	13
はや八年	昭和四十九年・五十年	16

第二章

わすれな草

寡黙なる父	昭和五十一年	17
喘鳴	昭和五十二年	20
赤き頬	昭和五十三年	22
めばる	昭和五十四年	24
糖プラス	昭和五十五年	26
鱒	昭和五十六年	28
耳かざり	昭和五十七年	31
くの字	昭和五十八年	33
入選	昭和五十九年	35
うす紅のばら	昭和六十年	38
凧の海		40

第三章 旅立ち

なべつかみ	昭和六十一年
リルケ	昭和六十二年
化粧地蔵	昭和六十三年
杏	
北上川	
モニター会議	平成元年
志賀島	
赤き半纏	平成二年
沙羅の古木	
湾岸	
平和日本	平成三年

74 71 67 63 60 57 54 52 49 46 42

別別のこと	平成四年	77
金丸座		80
今朝の卵	平成五年	83
伯備線		86
みどり児	平成六年	90
退職申請書		93
ストレス	平成七年	96
姓名判断		99
第四章 尉鷲		
ひとりかくれんぼ	平成八年	102
ペンギンと同居		105

海苔卷	平成九年	107
間合ひ		110
砂糖菓子	平成十年	113
現実逃避		116
熟れたる石榴	平成十一年	119
白き帽子		122
舟状骨骨折	平成十二年	125
解雇通知		128
アンタロン		131
紅の椿	平成十三年	134
若き狐		137
湖の形		140

第五章 白き水脈

釣師の女房	平成十四年
伏し目の麒麟	142
大吉	145
雷鳥	148
薄き唇	151
鳥笛	155
ああまたも	157
許容量	160
丹頂	163
ゆり根	166
日本かもしか	170
	平成十九年

あとがき

立春の海  
紅あざみ  
白き水脈

179

177 175 172